

直売所等でのキウイフルーツのおすすめ品種




キウイフルーツは晩秋～冬季に販売できる直売所で有望な果樹品目であるため、今回、直売所等での販売に適した有望な品種を選定したので紹介します。

1 おすすめ品種の概要

- 「紅妃(コウヒ)」: 9月下旬～10月上旬に収穫できる赤色系の早生品種です。小果ですが、糖度は20度以上と甘味が特に強く、食味に優れます。収穫後は、低温で貯蔵するだけで追熟が可能で販売もしやすい品種です。
- 「東京ゴールド」: 10月中旬～10月下旬に収穫できる黄色系の中生品種です。果形が涙型で、糖度は15度以上確保でき、果汁が多く、爽やかな味で食味は良好です。収量性が高く貯蔵性も3か月程度と黄色系品種の中でも高く、販売しやすい品種です。
- 「香緑(コウリョク)」: 11月上旬～11月下旬に収穫できる緑色系の晩生品種です。果形が俵型で、果肉が濃い緑色で、糖度が高く、香りも良く食味が良好な品種です。貯蔵性が5か月程度と高く、販売しやすい品種です。

表1 おすすめ品種の果実品質と特性

(令和5年度調査)

品種名		果実品質		特性
コウヒ 紅妃		収穫期	9月下旬～10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・甘味が特に強い ・酸味が少ない ・追熟しやすい ・授粉用品種は「早雄」
		糖度(度)	20.3	
		果重(g)	70	
		貯蔵期間	2か月	
東京ゴールド		収穫期	10月中旬～10月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・収量性が高い ・糖高酸低で爽やか ・果汁が多い ・授粉用品種は「孫悟空」
		糖度(度)	15.0	
		果重(g)	90	
		貯蔵期間	3か月	
コウリョク 香緑		収穫期	11月上旬～11月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・糖度が高い ・香りが強い ・貯蔵性が高い ・授粉用品種は「トムリ」
		糖度(度)	16.8	
		果重(g)	100	
		貯蔵期間	5か月	

※貯蔵期間は、果実を収穫後、5℃で冷蔵した場合に果実品質が保たれる期間になります。

2 効果およびコスト

○収入試算(1aあたり)(樹間4.0m×列間4.0m、東京ゴールド6本植栽の場合)

- ・収量: 192kg(2,400果) 樹冠面積16.0㎡/樹の場合(32kg/樹(400果)×6本)
- ・販売額: 172,800円 直売所での販売を想定(2,400果×商品化率90%×80円/果)
- ・年間作業時間: 36.6時間 剪定と摘蕾、授粉に多くの作業時間を要します。(6.1時間/樹×6本)

3 留意点など

○結実3シーズン目の若木での結果です。果重や収量は年々増加しており、果実特性は今後も変化する可能性があります。また、いずれの品種も主要な果樹苗木業者から購入できます。